

アートと 社会と 未来について

鳥取県立博物館は、昭和47年の開館以来、地域の歴史文化の継承・発展の拠点として、またその普及を通じた教育施設として活動を続けてきました。46年を経たいま、時代の変遷によりニーズが多様化する一方で、施設の老朽化やスペースの狭隘化などさまざまな課題に直面しています。現在検討している新美術館の整備計画は、そうした課題を解決すると同時に、人口減少時代の鳥取県の地域再生拠点として、その未来の姿を描こうとしています。

このたび、県内各地で活動される方々をゲストに、地域における文化活動やそのあり方、そして未来の美術館について考え、語り合うトークイベント「ミュージアム・サロン」を開催します。今回のゲストは、東京に拠点を置きながら、倉吉を中心に作家活動を行う傍ら、アート・プロジェクトや音楽イベントの企画に携わる映画監督の波田野州平（はたの・しゅうへい）さんです。波田野さんのこれまでの活動とそのバックボーン、地域について考えることなど広くお話を伺いながら、会場の皆様と共にアートと社会と未来について考え、意見交換する場にしたいと思います。

ぜひお気軽にお集まりください。

美術館を考え続けるプロジェクト#02 | ミュージアム・サロン08 波田野州平（映画監督）× 赤井あずみ（鳥取県立博物館学芸員）



「モダンアート再訪」展展示風景 | 鳥取県立博物館第二特別展示室

日時 | 2018/06/03 [日] 19:00-21:00

会場 | モダン 2F（鳥取県倉吉市大正町1075-52）

参加費 | 無料（ワンドリンク制）

主催・問合先 | 鳥取県立博物館 美術振興課 美術担当

電話:0857-26-8045